健全財政を堅持 企業特別会計

四十六年度水道事業は、年度末給水戸数三九七五戸、前年度比較一六五戸、四・二%増加し、給水量においては、給水戸数・給水量の増加・企業への給水増で年間一七六七千㎥となり、前年から比較すると一六%の増加を示した。一日最大給水量では八一〇〇㎥を記録したが、四十四年度から実施した施設の拡張により全く不安はなく、事業収益は六八五八五千円、うち給水収益五一五五八千円と前年度より九・八%増加・事業費用（企業債利息、減価償却費、人件費等）は四一、八%増加し、収益率は八・七%低下した。今後も更に投資的事業の関係から企業債利息が増加し、赤信号となるため、水道条例の一部を改正（水道料金の増額）し財政堅持を計ると共に、需要増に対処すべく建設改良事業も着々と進渉し給水の不安は解消される。今後も更にこれを推進していくものである。

また、ガス事業会計は新設住宅の増加、一般家庭の燃料転換等による需要戸数の増により、四十六年度は予定量以上の数量をみ、前年度末より一九三戸、六・四%増加、供給量では一四・九%の増となった。年間供給量の増加により料金収入も五八九六万円と一四・六%増・事業費用は料金収入にやや近い金額の五三〇五万余円にも昇り前年比較では二五・七%と増額したが利益剰余金一四八一万余円と収益も順調な延びを示している。

当年度は、増大する事務量を処理するため、小型電算を導入し能率化を図るとともに、各地区の供給改善事業を推進し、需要の増加に対処し、施設の保安と需要者へのサービス向上を推進しなければならない。

▼水道会計決算（基本的収支）

（収入）
営業収益　六千七六九万七一二八円
営業外収益　八三万八〇二一円

（支出）
営業費用　四千九三三万三三八二円
営業外費用　一千三七一万〇二四円

純利益　五四九万一五一九円

▼ガス事業会計決算

（収入）
営業収益　五千八九六万〇五八七円
営業雑益　八四五万九一九二円
営業外収益　四五万六千五〇〇円

（支出）
営業費用　三千七二四万三三二七円
営業雑費用　九三九万三三二一円
時間外費用　一三万五二二五円
純利益　一千四八一万七四〇三円

おたずねに答えて！

黒埼村の「サキ」はどの字が正しいのでしょうか。

◎質問に答えて

昭和六年十二月十五日発行の（黒埼村報　合村三十周年記念号）によると、

明治三十四年（一九〇一）に実施された、町村の大合併により誕生した本村は当時、新しい村名について、木場、板井、黒鳥、金巻、鳥原村の各長の間で協議が行なわれ、農村部と商取り引きをしている大野町が対立し村名の決定をみられず、結局、黒鳥村長の鷲尾長政と当時県会議員の萩野左門の両氏に一任することになり、鷲尾氏は古文書や古地図で調べた結果、古くはこの地方を黒埼郷と呼んでいたいきさつもあり、黒埼が良いということで会議に提案し可決したという。

黒埼村の「埼」については内水面の岬は埼と書き、また「ホリ」と読むところから、この方がよいと鷲尾氏の発言により黒埼のサキは山扁ではなく土扁であると県に報告されたと知らされている。

国民年金の任意加入のお勧め……

◎国民年金の任意加入とは……

国民年金は二〇歳から六〇歳までの日本人ならば、誰れでも年金に加入しなければならないことになっております。しかし他の公的年金制度（厚生年金や各種共済組合）に加入している人は加入できません。ですがこの方々の奥さんや大学生は自分から希望して、任意に加入する道が開かれています。これが国民年金の任意加入制度と呼ばれるものです。

◎奥さんのための年金制度

これまで、サラリーマンの奥さんには、独自な年金がありませんでした。ご主人が将来老齢年金や恩給を受けるようになったとき、それによって一応は奥さんも保障されています（扶養加算など）が、これはあくまでも、夫を通じて行なわれる不安定なものです。これだけでは奥さんの老後の生活が安定したものとはいえません。これをおぎなう意味から、希望があれば国民年金に加入して奥さん自身が、自分の手で老後に備えることができるように考えだされたのがこの任意加入制度です。

◎有利な任意加入

女性の方で会社勤めをおやめになると、それまで加入していた厚生年金などの脱退手当金を貰っていたわけですが、この制度はいずれはなくなり、六〇歳からの年金になります。結婚までの年金制度加入期間が短いため、有利の年金を受けることができません。月額五五〇円の国民年金保険料を納めて更に有利にいかすのが国民年金の任意加入制度です。将来、ご主人が勤め先から、奥さんは国民年金からと、それぞれ年金をうけることができるよう、この国民年金の任意加入をお勧めいたします。貴方に給付される金額は次の通りです。

計算方法

加入期間×月数×320円＝年金額

例

加入期間　月数　年額

20年　×12×320円＝96,000円

加入手続は役場厚生課年金係まで印かん持参の上申請届出して下さい。以上詳細については厚生課へお問い合せ下さい。

税務課コーナー

◎登記管轄の変更

従来不動産登記について、木場、板井。大潟の三地区の登記管轄は新潟地方法務局白根出張所の所轄であったが、新潟地方法務局長からこの三地区の登記管轄を十月一日から新潟地方法務局（本局）の所管に変更する旨通知があったからご連絡致します。

◎昭和四十七年度税制

各種控除額が引きあげ

1 住民税関係は各種控除額が次のように引き上げられた。

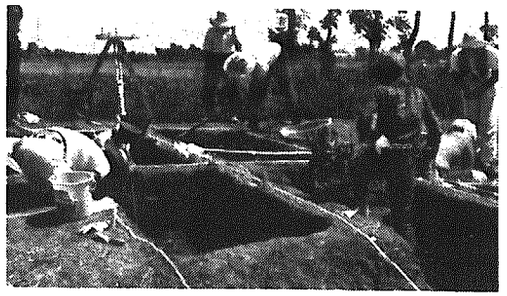
- 給与所得控除額の最高限度額を五万四千五百円引上げて五十二万二千五百円となる。
- 白色事業専従者控除額は一万五千円引上げて十万六千五百円となる。
- 老年者。寡婦。勤労学生。身体障害者等控除額が各一万円引き上げて一〇万円（特別障害者は一二万円となる。扶養控除額は一万円引き上げて一一万円となる。
- 基礎控除額は一万円引き上げて一五万円となる。

2 事業税の事業主控除額は二四万円引き上げて六〇万円となる。

3 電気ガス税の負担を軽減するため電気に対して課する電気ガス税の免税点を月額八百円（改正前七百円）にガスに対して課する電気ガス税の免税点を月額千六百円（改正前千四百円）にそれぞれ引き上げることとなった。

木場大墓遺跡 発掘調査のあらまし

北陸高速自動車道の敷地となる木場大墓遺跡の発掘調査は九月五日多大の成果を得て終了しました。この墓地は高貴な人の墓とか、武将の墓とも伝えられてきたもので木場上組の通称上屋敷と呼ばれている標高一米前後の平地に立地しています。現状は五・七米×五米高さ〇・八米の方形土壇状となっており、その周囲は畑となっています。調査の結果これを土層別にみると、上層部から江戸時代の初め頃と思われる骨蔵器（骨瓶）が五個、陶磁器の破片が二五〇片から三〇〇片くらいと人骨片が出土しました。下層部からは墓壙（墓穴）が約四〇個発見され、これらの大きさは直径二〇㎝から二〇㎝くらい、深さ一〇㎝から一五㎝程度の円形のもので、そのなかに人間の焼骨がびっしりつまっており、埋葬の方法、形態にもそれぞれ差が認められます。この下層からの出土遺物として鉄ナベ、すり鉢をかぶせた骨蔵器一点、茶わん一個小皿二点が出土しています。この遺跡の時期は、だいたい三期にわたって埋葬されたものと思われます。被表彰者は次の方々です。



氏　名　（敬称略）

岡田　幸平
自治振興功労特に顕著である者
深沢　茂　斎藤　美芳
各種委員会委員十五年以上の者
柄沢　光平　森　元成
本村職員二十五年以上勤務
武田　源助
村民の模範となるべき篤行者
江端　修吾　武田　武夫
再度の表彰

自治振興功労者表彰さる

九月二十七日、午後一時から役場議場において、黒埼村表彰条例による村政功労者表彰式が挙行され、次の八人の方が表彰された。被表彰者はいずれも永年本村自治の振興伸展に尽瘁され、今日の黒埼村、福祉と文化のゆきとどいた豊かな黒埼村の基盤となられた方々であり、永い間ご苦労様でした。今後共一層のご尽力をお祈りします。また一人の墓跡とは考えられず多葬墓であるということです。人骨については新潟大学医学部で遺物は県教育庁文化行政課で、それぞれ分類整理をし検討がくわえられ四十八年には学術報告がおこなわれる予定になっています。これまでほとんど知られていない中世から近世にかけての墓葬の方式などに、この遺跡は新しい知見をくわえることができました。調査にご協力くだされた関係者に厚くお礼申しあげます。

板井釈迦堂遺跡の調査始まる

大墓遺跡と同じく高速道路の敷地となる釈迦堂遺跡の一部の調査が十月六日から県教育庁が主体となり発掘調査がすすめられています。この遺跡は鎌倉時代から室町時代の集落跡と推定されています。調査は土層の確認からすすめられています。出土遺物は陶磁器片、陶質土器片などが約一〇〇点、そのほか自然木の根などが多く出ています。この調査は十一月中旬まで実施される予定になっており成果が期待されています。

（教育委員会）

緒立温泉十二月 いよいよオープン

黒鳥兵衛、最後の奮戦地として有名な緒立八幡宮の境内には、数百年の昔から眼病や皮膚病、切傷などによく効く霊泉があると古文書にしるされております。

また古老の云い伝えによると、文久三年ある人が病にかかりなかなか治らなかったところ、ある晩夢知らせがあり「緒立の八幡宮に行けばきっと治る」というお告げがありましたので八幡宮に行ってみると泉が湧き出しており、傷ついた一羽の白サギがしきりにこの水を浴びているのをみつけ、これが夢のお告げの病気を治す霊泉であることを悟り、二・三日浴したところ忽ち病が治癒したという。これが緒立温泉の起源であるとか。その後（昭和三十三年）この水を分析してみると、この泉質は含重曹食塩水であり温泉法に規定する温泉に該当し、次の病気に効果のあることが新潟県衛生研究所により証明されました。

浴用の適応症
慢性関節リウマチ、慢性筋肉リウマチ、ぢ、創傷、慢性皮膚病
慢性婦人科疾患

飲用適応症
慢性胃カタル、胃傷アトニー

吸入療法
慢性気管支カタル、咽喉カタル

このような薬効のあることから、戦前、戦後を通じて緒立の湯治場として県内外に知られたものであります。

しかしこの温泉も諸般の事情で数年前から廃止の状態になっておりましたが地域の人達や昔を知る老人達多数の強い要望があり、村では本年八月より六百万円の予算を計上し再建に努めて参りました。その結果この緒立温泉の復活は老人憩いの場である黒埼荘に十二月一日よそおいも新たに一般に開放されることになりました。古きを訪ねて新しきを知る、昔を懐かしみながら是非お出かけくださるようお待ちしております。

なおまことに恐縮に存じますが十二月一日から法律の適用により従来の使用料の他に入湯税として四十円を納入していただくことになりました。従って六十歳以上の老人は九十円、六十歳以下四十円、村外の方は二百四十円となりますので、よろしくお願い申しあげます。

上越新幹線 交渉は平行線

上越新幹線対策として、七月に黒埼村新幹線対策協議会が発足して以来数回にわたって鉄道建設公団と交渉を行なっており、対策協議会の要望としては日照、騒音、地域開発等からして、両側六メートルの側道を重点的に要望し、その他残地補償、代替地の問題、工事公害また、完成時点の電波障害、騒音公害について交渉中であり鉄道建設公団は片側四メートルの側道は工事用道路として設置する。また、住宅地については両側道を付けるなどの解答をしており、今後も少なからず問題が尾を引きそうである。

町制施行作業 順調に進む

広報くろさき（第二十号）また新聞紙上でご存じかと思いますが黒埼村を黒埼町とすることについて順調に作業も進み、去る十月十二日、県地方課へ書類の提出も終了し十二月県議会で可決されれば二月一日にも町制を制定する予定である。